

「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」に基づく
第三者検証の実施報告書

令和7年3月11日

国立研究開発法人

医薬基盤・健康・栄養研究所

理事長 中村祐輔 殿

香芝生喜病院 顧問、東京大学名誉教授

大阪大学微生物病研究所附属感染動物実験施設教授

理化学研究所バイオリソース研究センター専任研究員

筑波大学トランスボーダー医学研究センター教授

吉田 進昭

伊川 正人

綾部 信哉

水野 聖哉

吉田進昭
伊川正人
綾部信哉
水野聖哉

貴機関で実施された令和6年度自己点検及び評価の結果について第三者検証を下記のとおり実施したことを報告します。

記

対象施設： 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
大阪エリア（大阪本所と健栄研）、つくばエリア（霊長類センター）
実施日時： 令和7年2月27日 13:00-17:00

実施方法：

- ・ 担当施設に利益相反がなく、動物実験、実験動物に精通している4名により検証作業を行う。
 - 大阪エリアの施設担当：吉田・伊川、つくばエリアの施設担当：綾部・水野
- ・ 貴機関が実施した「令和6年度自己点検・評価報告書（3施設統合版）」と関連資料の確認。
- ・ 令和6年度自己点検・評価の妥当性に関する質疑応答（3施設合同のWeb会議）
- ・ 各エリアの施設視察と質疑応答。

検証結果の概要：

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所の3施設における令和6年度自己点検・評価の結果について第三者検証を実施した。自己点検・評価での点検項目（組織・体制の整備、規程類の制定、委員会の設置、動物実験の実施体制、教育訓練、自己点検・評価、情報公開、安全管理、飼養保管など）について3施設合同のWeb会議による質疑応答により妥当性を検証し、さらに各施設の査察により飼養状況を確認したところ、改善が望まれる事項が複数見られたものの、厚生労働省の基本指針および環境省の実験動物飼養保管基準に概ね準拠した運営体制の整備と動物実験の実施がなされていると認められた（別添資料参照）。指摘事項の改善によって、より適切な動物実験の実施と実験動物の飼養保管がなされるよう希望する。

以上